

Form 5

平成 22 年 10 月 12 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 学校法人 市川学園 市川高等学校
2. 参加研究者: Seyed Jawad ZAFARMAND
3. 実施日時: 平成 22 年 10 月 1 日 (金) 13:20~15:00
4. 参加生徒: 2 年生 71 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 71 人)  
備考: (例:理数科の生徒) 高校2年生の理系選択者
5. 講演題目: (英文) An Analytical Approach to Products Subjective Sustainability  
(和文) 長く使いたいと思いたくなる製品の感性工学的分析
6. 講演概要:  
人間の感性に基づいた、持続可能な(長く使い続ける)製品の定量的な分析。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:  
(1) 講演時間 85 分 質疑応答時間 15 分  
(2) 講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など)  
プロジェクター使用による講演  
(3) 通訳 (例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
なし
- 協力者 職・氏名
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
講演者の使用するパワーポイントの抜粋
9. 支給経費:  交通費  宿泊費  謝金
10. その他特筆すべき事項: 特になし